

【回収率】

教職員：100% 保護者：78%（前年比1ポイント増）

【各設問項目】

1. 保護者

全33項目の設問に対し32項目（昨年度は31項目）についての肯定的評価90%以上の回答をいただいています。

新型コロナウイルス感染症について、感染状況に応じた校内での対策を継続しながら、教育活動については、徐々にその幅をコロナ以前と同程度までに拡充しつつあり、そういったことが評価いただいているものと考えています。顕著な例として「11 他校との交流」に関する評価が前年度より20ポイント上昇しています。コロナ禍の中、配信による授業参加や学校HPでの情報発信など、環境整備は進んできましたが、「22 学校ホームページ」への評価が示すように、80%以上の肯定的な評価をいただけてはいますが、全体的との比較では依然課題の残る結果となっており、情報発信については今後もさらなる充実をめざす必要があると考えています。

記述回答については、駐車スペースの確保についてのご要望、校舎老朽化への対応についてのご要望が複数寄せられています。校舎の老朽化につきましては、児童生徒の安全・安心に関わる部分については可能な限り早急に改修を進めているところです。今後も学習環境の整備につきましては改善に努めてまいります。

2. 教職員

肯定率90%以上の評価項目は全32項目中21項目で、前年度9項目に留まったことを考えると全体的な自己評価の肯定率が大幅に上昇しています。設問「6～9・12・13」等の学習内容の充実に向けた校内の仕組みについての項目や、設問「24～27」の人権教育に関する項目、教育活動の改善・発信に関する項目などの肯定率が上昇しています。前段でも触れましたように教育活動が徐々にコロナ以前の状態に拡充していく中で、学習内容の充実に向けた校内の仕組みの有用性が実感されたり、様々な校内研修等で提供される情報が有効に活用されたりした結果ではないかと考えています。

しかし一方で校務運営に関する項目「3・4・5」や、「10」の教員間での協議についての項目は肯定率70%台に留まっており、校務運営の体制や業務の効率化への課題、またそこからくる教職員の多忙感がうかがえます。

記述回答については、「特定の教員への業務の偏り」「異動や校内での配置換えによって業務の引継ぎが十分に行われない」「小規模校に応じた校内人員配置」「校務分掌の再編」などの指摘があがっています。

「業務マニュアルの作成」による引継ぎの効率化や「会議時間の短縮」など業務改善の取り組みを進めているところではありますが、その効果を実感するには至っていないというのが現状だと受けとめています。今後も継続して課題を整理し、効率的な校務運営となるよう関係部署と改善に努めてまいります。

ご意見欄（要約）

【保護者】

- ・ 駐車スペース（保護者等の一般車両用）の確保について
- ・ 校舎、設備の老朽化への対応について
- ・ PTA 活動、PTA 役員等選出の方法について
- ・ 教員の人員確保、環境整備等の予算確保について
など

【教職員】

- ・ 校務分掌の再編について
- ・ 行事、会議等の精選について
- ・ 学年、校務分掌等の人員配置につて
- ・ 業務の偏りの改善について
など